

(20) グローバルワークキャンプ事業

大学生を対象に、3泊4日のワークキャンプを実施しました。第1回目となる今年度は日本人、外国人学生がフィールドワークを交えて5つの分科会活動を通して多言語コミュニケーション力、異文化の理解とそれを受け入れることのできる「グローバル人材」の育成を行いました。

期 間：平成26年8月19日（火）～22日（金）3泊4日

場 所：国立阿蘇青少年交流の家

参加人数：80人

内訳：日本人学生50人、留学生（日本在住）9人、海外の大学生21人（6カ国1地域）

留学生の数と国籍：9人（バングラデシュ人民共和国6人、インド2人、
パプアニューギニア1人）

海外の大学生の数と国籍：21人（大韓民国12人、インドネシア共和国4人、
台湾3人、ラオス人民民主共和国2人）

参加費：7,000円



分 科	テーマ	主 な 内 容
第1分科会	食 Globe's kitchen	「食」というテーマについて学び、体験を通して「世界中の誰もが美味しく食べることが出来る一品」を作る。世界中から集まった仲間たちと様々な視点から「食」を学び、経験し、その知識を「一品」に仕上げていく。さらに、考えた「一品」をプレゼンし、様々な人に向けて発信してみよう。
第2分科会	フェアトレード Fairtrade	この分科会では、「フェアトレード」をテーマに学習し、フェアトレードを社会に広げるためには、広報イベントや商品開発を参加者みんなで考えていきたい。身近で簡単な国際協力を社会に広めていくにはどうすればいいかを考え、フェアトレード商品開発やフェアトレード啓発イベントを計画したい。
第3分科会	ジェンダー Gender	ジェンダーについて多様な事例を通して、その在り方について考えていきたいと思う。テーマを2つに絞り、1つ目は「男性と女性、どう違うの??？」女性と男性、そのほか様々な視点から提示された議題について意見を出し合い、性差別問題の状況を確認する。2つ目は「本当の平等とは？」というテーマ。男性や女性、日本と世界、多角的な視点から男女の在り方について考えてみる。